

檜山の研究活動

研修部長 今金町立今金小学校

校長 谷口光伸

1 はじめに

檜山校長会は、管内7町の小学校22校、中学校13校で構成されている。

今年度は、第10次4か年研究(25～28年度)最終年度として、檜山校長会教育研究乙部大会を開催した。檜山校長会と各町校長会の組織的、継続的な共同研究体制を強化し、各学校、各町校長会での教育推進に努めている。



2 研究計画

(1) 研究主題

「ふるさと檜山の地で、自己実現に向けて夢に挑戦する児童生徒の育成」
～児童生徒に生きる力を育み、地域に信頼される学校づくりの推進～

(2) 研究分野・研究課題・研究の視点一覧

研究分野	研究課題	研究の視点	担当町
		キーワード	
学校経営	○組織マネジメントを生かした学校経営と校長の在り方	①経営ビジョンの浸透を図る学校経営 経営理念、重点目標、学校評価、学校関係者評価等	江差町
		②組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営 経営参画意識の向上、学校職員評価制度等	上ノ国町
		③家庭・地域社会・異校種等との連携を図る学校経営 説明責任、結果責任、地域に根ざした教育活動等	奥尻町
教育課程	○檜山の特色を生かした創意工夫ある教育課程と校長の在り方	①確かな学力の向上を目指す教育課程 授業改善、学校改善プラン、数値目標等	せたな町
		②豊かな人間性と感性を育む教育課程 特色ある教育活動、体験的な活動、道徳教育等	今金町
		③児童・生徒の個性や特性を生かす教育課程 キャリア教育、放課後学習、体力の向上等	
生徒指導	○児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と校長の在り方	①望ましい人間関係づくりを図る生徒指導 アセス、ほっと等の実施やコミュニケーション活動	厚沢部町
		②自己指導能力の育成を目指す生徒指導 自己選択、自己決定、自立への支援等	乙部町
		③学校の教育活動全体を通して行う生徒指導 指導体制の確立、家庭・地域・関係機関との連携等	

(3) 研究方法

研究は4か年計画とし、研究分野を「学校経営」「教育課程」「生徒指導」の3分野として、各町校長会は組織的・継続的な共同研究を推進する。

3 研究活動

(1) 檜山校長会教育研究乙部大会の概要

【研究主題】 ふるさと檜山の地で、自己実現に向けて夢に挑戦する児童生徒の育成
～児童生徒に生きる力を育み、地域に信頼される学校づくりの推進～

○ 期 日 平成28年10月7日(金)・8日(土)

9:00～9:15 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 14:55 16:30

<1日目>	受付	開会式	講 話	分科会	昼食	分科会	分科会	全体会
-------	----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----

8:45～9:00 9:45 10:40 11:10

<2日目>	受付	小中合同部会	小中別部会	閉会式
-------	----	--------	-------	-----

◇第1分科会

○ 提言題 「組織の活性化と教職員の資質向上を図る学校経営と校長の在り方
～組織マネジメントの活用と校長のリーダーシップ」

○ 提言者 江差町立江差北小学校長 藤 森 祐 子

◇第2分科会

○ 提言題 「今金町の教育執行方針を踏まえた教育課程と校長の在り方」

○ 提言者 今金町立今金小学校長 谷 口 光 伸

◇第3分科会

○ 提言題 「児童生徒理解に基づき学校全体で進める生徒指導と校長の在り方」
～未然防止を確立するための学校体制づくり～

○ 提言者 厚沢部町立鶉小学校長 本 谷 弘 之

◇小中合同部会

○ 提言題 「特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を
必要とする児童への指導の充実」

○ 提言者 上ノ国町立滝沢小学校長 晴 山 泰 文

○ 提言題 「知徳体の調和のとれた特色ある教育課程の編成・実施」

○ 提言者 厚沢部町立館中学校長 太 多 弘 之

(2) プロジェクト研究

① 小学校部会

○ 研究題 「特別支援教育」 (道小小樽大会提言発表)

② 中学校部会

○ 研究題 「教育課程」 (道中旭川大会提言発表)

4 おわりに

今年度は、昨年第57回北海道中学校長会研究大会 檜山・江差大会の開催のため、檜山校長会教育研究大会を中止した関係で、2年ぶりに乙部町で檜山校長会の教育研究大会を開催した。檜山校長会と各町校長会との連携を密にし、研究の基本主題・研究課題の具現化を図るため、研究の視点を踏まえた校長の職能向上と学校経営の改善・充実に資する研究を推進したいと考えている。

また、今年度は、道小小樽大会で「自立(特別支援教育)」、道中旭川大会で「教育課程」の提言発表を行い、檜山の地域性を生かした教育実践を全道へ発信できた。今後も小規模性、へき地性強みとして生かすような特色ある檜山の学校教育を目指し、研鑽を続けていく所存である。